

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	0021		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	『書いて覚える漢字練習ノート』京都書房、『キーワードの卵』尚文出版、『国語表現ナビ』浜島書店、『新版7訂新訂総合国語便覧』第一学習社、『国語常識のトレーニング国語便覧ワークノート』第一学習社、『現代評論12』桐原書店、その他、プリント教材を配付する。（1年次から引き続き使用する教材はそれを持参すること。）					
担当教員	要 弥由美					
到達目標						
論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理の整合性	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえることができる		論理的な文章の構成や展開をある程度とらえることができる		論理的な文章の構成や展開を的確にとらえることができない	
思考の整理と表現	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。		新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法をある程度実践できる。		新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できない。	
常用漢字の読み書き	常用漢字の音訓を正しく使える 主な常用漢字が書ける		常用漢字の音訓をある程度正しく使える 主な常用漢字がある程度書ける		常用漢字の音訓を正しく使えない 主な常用漢字が書けない	
語彙の生活活用	類義語・対義語を思考や表現に活用できる		類義語・対義語を思考や表現にある程度活用できる		類義語・対義語を思考や表現に活用できない	
論理的思考	課題に応じ、根拠に基づいて議論できる		課題に応じ、ある程度根拠に基づいて議論できる		課題に応じ、根拠に基づいて議論できない	
文書作成	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。		報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することがある程度できる。		報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教養 D2						
教育方法等						
概要	漢字は、常用漢字を理解し、使用できるように書き込み式の問題集を使用する。毎時、確認テストを行う。 文法・語彙の教科のために問題集とその確認テストを行う。 読解では、論理的な思考をすることができるように、作品中から事実と判断の根拠を見つけて自分の言葉で解説すること、根拠のない解答を述べないことを訓練する。文学作品でも、客観的な分析ができることを学び、他者理解につなげる。 言語表現では、一文の校正からはじめ、レポートや報告書など、まとまった文書が書けるように、基礎的な言葉や文型の習得を目指す。					
授業の進め方・方法	国語表現：問題集は課題とする。授業では確認テストを行う。 漢字：漢字ノートは課題とする。授業では確認テストを行う。 国語便覧：常識を学ぶ。授業では確認テストを行う。 小テスト類は、平常点として扱う。欠席の回は0点とする。 読解：テキストを読み、内容を読み解いていく。それぞれ、解釈した内容を作文課題として課す。 言語表現：実際に文章を書くことで、語法や語彙、段落内構成、段落構成などを学び、実用的文書の書き方を学ぶ。					
注意点	辞書を必ず持ってくる。国語辞典のほか、類語辞典なども購入することを勧める。（『類語国語辞典』角川書店 大野 晋・浜西 正人、『新明解類語辞典』三省堂 中村 明（編集）など。） プリント整理のために、2穴のA4紙ファイルを3冊準備すること。背表紙と表紙にクラス・出席番号・氏名を書いておくこと。定規・ノリ・ハサミ・ホチキスなどの文具も常備することが望ましい。 授業ノートを1冊用意すること。ノートは、柵目ノートかドットノートが望ましい。言語表現の授業では作文が主になるので、ノートの整理に几帳面な学生は横書き原稿用紙野のノートを準備することが望ましい。（ライフノート「原稿ノートヨコセミ B5 C166」推奨。）なお、提出物用の原稿用紙は授業中に配布する。筆記用具には、シャープペンシルのほか、赤・青・黒のペンおよび何色かのカラーマーカーを持ってくることを望ましい。 試験に代わるレポートを課す場合がある。その課題が未提出の場合は、試験を受験しなかったものとして扱う。その他、必須の提出課題は平常点として扱う。 成績に関わる課題については、その都度、連絡する。 漢字ノートの練習は、Bまたは2Bのシャープペンシルか鉛筆を用いること。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
	週	授業内容			週ごとの到達目標	

前期	1stQ	1週	ガイダンス レポートの書き方① 漢字・文法 言語表現	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		2週	レポートの書き方② 漢字・文法 言語表現	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		3週	レポートの書き方③ 漢字・文法 言語表現 要約	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		4週	レポートの書き方④ 漢字・文法 言語表現 要約	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		5週	レポートの書き方⑤ 漢字・文法 言語表現 要約・作文	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		6週	レポートの書き方⑥ 漢字・文法 言語表現 要約・作文	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		7週	中間試験	
		8週	漢字・文法 調査レポートの書き方①	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
	2ndQ	9週	漢字・文法 調査レポートの書き方②	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		10週	漢字・文法 調査レポートの書き方③	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		11週	漢字・文法 調査レポートの書き方④	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。
		12週	漢字・文法 調査レポートの書き方⑤	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。

後期		13週	漢字・文法 調査レポートの書き方⑥	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	
		14週	漢字・文法 調査レポートの書き方⑦	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	
		15週	期末試験		
		16週	試験解説		
	3rdQ	1週	漢字・文法 要約① 文語①	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		2週	漢字・文法 要約② 文語②	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		3週	漢字・文法 要約③ 文語③	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		4週	漢字・文法 要約④ 文語④	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		5週	漢字・文法 要約⑤ 文語⑤	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		6週	漢字・文法 要約⑥ 文語⑥	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		7週	漢字・文法 要約⑦ 文語⑦	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	
		8週	中間試験		
		4thQ	9週	漢字・文法 レポート作成① 要約作文①	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			10週	漢字・文法 レポート作成② 要約作文②	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			11週	漢字・文法 レポート作成③ 要約作文③	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			12週	漢字・文法 レポート作成④ 要約作文④	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			13週	漢字・文法 レポート作成⑤ 要約作文⑤	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			14週	漢字・文法 レポート作成⑥ 要約作文⑥	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
			15週	期末試験	
			16週	試験解説／成績確認	

評価割合			
	試験またはレポート	提出物・小テスト	合計
総合評価割合	50	50	100
知識の基本的な理解	50	50	100